

## 「イメージをもとに構成を工夫して音楽をつくろう」

本単元で育成する資質・能力

主体性・深める力

## 題材について

## ○題材観

本題材は、学習指導要領のA表現（3）創作イ「表現したいイメージをもち、音素材の特徴を感じ取り、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽をつくること。」〔共通事項〕としては、「リズム、強弱、構成」をもとに設定した。

本題材は、表現したいイメージをもち、リズムパターンを反復、変化、対照などの構成を工夫して音楽をつくることを通して、イメージを膨らませながら、リズムの重なり合いの面白さを感じ取るとともに、グループでコミュニケーションを図りながら創意工夫して音楽をつくり、表現する楽しさや喜びを実感することが期待できる題材である。

## ○生徒観

9月に「リズムゲーム」として4分の4拍子2小節の簡単なリズムを創作する授業を行った。この創作ができた生徒は55%、リズム譜を見てリズムを打つことができた生徒は45%であった。生徒の授業の振り返りをみると、「創作をするのは難しい」と思っている生徒が半数以上いた。

また、「課題発見解決学習に関する1年生のアンケート」の結果は、以下のとおりである。

	アンケート項目	肯定的回答	否定的回答
1	授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」、「やってみよう」と思います。	95.5%	4.5%
2	授業では、自分の考えを積極的に伝えていきます。	78.8%	21.2%
3	授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。	74.2%	25.8%
4	授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	84.8%	15.2%

アンケート結果から、学習に対して意欲的に取り組む生徒は多いが、自分の考えを発表することや相手目線に立って伝えることには少し消極的な生徒がいる。しかし、友だちと話し合うことで自分の考えを深め、広げることができると思っている生徒は多い。

## ○指導観

指導にあたっては、生徒が自己のイメージを膨らませながら、音を音楽へと構成することを通して、創作する楽しさや喜びを実感させるように指導していきたい。そのため、課題を「自分たちが行事で使うテーマ曲を創作する」と設定し、生徒が意欲をもって創作活動に取り組めるようにする。どの行事のどんな場面でどんなイメージの曲を創作するのかをグループで共有し、表現したいイメージをもたせて学習を進めたい。あわせて、これまでの基礎技能や既習内容を生かして、まず自分で演奏することのできるリズムをつくり、さらにそれを組み合わせる自分たちのイメージを表現できるように工夫させる。

そして、イメージを表現するための工夫として「強弱」「構成」に着目させ、取り扱う〔共通事項〕を絞ることで、音楽を形づくっている要素の働きをより明確にし、その良さを感じ取らせながら表現できるように工夫させたい。

さらに、創作活動においては、グループ学習を生かし、構成の工夫や表現の意図を話し合いながら思考を深めさせるとともに相手目線に立った発表へとつなげることで、自分の考えを相手に伝えるにむくいと考えている生徒が自信をもって取り組めるようにしたい。

## 題材の目標

表現したい具体的なイメージをもち、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽をつくり出すことができる。

## 題材の評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能
・リズム、強弱、構成（反復、変化、対照など）に関心を持ち、音楽表現を工夫しながら音楽をつくる学習に主体的に取り組みようとしている。	・音楽を形づくっている要素（リズム、強弱、構成）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽で表現したいイメージをもち、反復、変化、対照などの構成を工夫し、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	・リズム、強弱、構成（反復、変化、対照など）を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて音楽をつくっている。

## 題材として育てたい資質・能力のつながり

本校の育てようとする資質・能力の内容			題材として育てたい資質・能力を身につけた子どもの姿
知識	つながる知識	「既習事項」とのつながりのある知識 「他教科・領域」とのつながりのある知識 「地域・社会」「将来への活用」とのつながりのある知識	
スキル	思考力 判断力 表現力	課題を正しく受け止め、目的に応じて考え、根拠を基に判断する力 思考・判断に至った過程を振り返り、クリティカルに考える力 自分の考えを相手に納得できるよう、分かりやすく表現する力	
意欲・態度	主体性	自ら課題を発見し、よりよく解決しようとする 時と場を踏まえ、目的に応じて自ら判断し、行動しようとする	リズム、強弱、構成（反復、変化、対照など）を工夫して、グループの表現したいイメージになるように、自分たちのオリジナルの音楽を自ら進んでつくり出そうとしている。
価値観・倫理観	深める力	<b>「佇む」(たたずむ)こと、「はっと気づく」こと</b> 広い視野と細かな配慮を持って物事を捉える力 表面に見えていないものを感じ取り、深く思考を働かせる力 創造的な思考を働かせ、新たな価値を発見・創造しようとする力	グループの表現したいイメージをもとに、リズム、強弱、構成（反復、変化、対照など）を考えて、どのように自分たちのオリジナルの音楽をつくるかについて工夫しようとしている。
	共感力	<b>こだまし、うなずくこと</b> 他者意見を真摯に聴き、受け止め、相手目線で考える 関わり合いの中で、「思いやり・優しさ・助け合いの心」を持って行動する 仲間と協働し、ともに高まろうとする	

## 題材の終末におけるパフォーマンス評価

パフォーマンス課題	評価基準	
それぞれの行事でクラス発表をする時のオープニングテーマ曲をつくり出そう。	A	表現するイメージをもち、構成を工夫し、必要な課題に沿った音の組み合わせ方などの技能を身に付けて、主体的に仲間と協働しながら音楽を創作することができる。
	B	表現するイメージをもち、構成を工夫して主体的に創作することができる。
	C	表現するイメージをもち、リズム創作をしている。

## 指導と評価の計画

時	学習過程	学習内容	評 価				評価規準 (評価方法)	◆題材として育てたい資質・能力を身につけた子ども達の姿 【資質・能力】
			関	創	技	鑑		
1	課題設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パフォーマンス課題を提示し、これからの学習の見通しをもつ。</li> <li>・DVDの模範演奏などを鑑賞して、「反復, 変化, 対照など」音を音楽へと構成するための方法をつかむ。</li> </ul>	◎				ア (観察・ワークシート)	
2	情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで表現したいイメージを具体的にもつ。</li> <li>・各自で4分の4拍子2小節のリズムをつくる。</li> </ul>		◎			イ (観察・ワークシート)	
3	整理・分析(本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自のリズムをグループの表現したいイメージに合わせて、構成を工夫する。</li> </ul>		◎			イ (観察・ワークシート)	◆グループの表現したいイメージをもとに、リズム, 強弱, 構成(反復, 変化, 対照など)を考えて、どのように自分たちのオリジナルの音楽をつくるかについて工夫しようとしている。 【深める力】
4	実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムの組み合わせや構成を工夫して、各グループのイメージに沿った音楽をつくる。</li> </ul>			◎		ウ (観察・ワークシート)	
5	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループでつくった曲を演奏し合う。</li> </ul>	◎				ア (観察・ワークシート)	◆リズム, 強弱, 構成(反復, 変化, 対照など)を工夫して、グループの表現したいイメージになるように、自分たちのオリジナルの音楽を自ら進んでつくろうとしている。 【主体性】

# 本時の学習

## (1) 本時の目標

自分たちが表現したい曲のイメージをもとに、構成を工夫してどのように行事のオープニングテーマ曲をつくるかについて思いや意図をもつことができる。

## (2) 本時で育成したい資質・能力

・グループの表現したいイメージをもとに、リズム、強弱、構成（反復、変化、対照など）を考えて、どのように自分たちのオリジナルの音楽をつくるかについて工夫しようとしている。

【深める力】

## (3) 準備物

教科書・ワークシート

整理・分析

## (4) 学習展開（3限目/5）

	学 習 活 動	指導上の留意点（◇） （◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て）	評価規準〔観点〕 （評価方法） 【資質・能力の評価】
導入 （5分）	1 自分の作ったリズムを確認する。  2 本時のねらいの確認	◇これまでの学習を振り返り、自分がつくったリズム（4分の4拍子2小節）を確認させる。 ◆リズム譜などを見て、ペアで交流して、各自のリズムを確認させる。	
<b>【ねらい】</b> 自分たちが表現したい曲のイメージをもとに、構成を工夫して行事のオープニングテーマ曲をつくろう			
展開 （40分）	3 自分たちの表現したい曲のイメージを確認する。  4 構成やリズムの重ね方を工夫して、グループの曲をつくる。  5 作品の工夫した点を重点に数グループの発表をする。	◇どの場面で自分たちの曲を使いたいか考え、そのイメージをもう一度確認させる。 ◆具体的なイメージをもう一度確認し、そのために必要なリズムや強弱を考えさせる。  ◇リズムの重なり方を生かし、全体の構成を創意工夫させる。 ◆演奏する順番を変えて、リズムの組み合わせ方をいろいろと思考させる。 ◆反復や変化、対照などの構成を工夫させる。	イ （観察・ワークシート） ◆グループの表現したいイメージをもとに、リズム、強弱、構成（反復、変化、対照など）を考えて、どのように自分たちのオリジナルの音楽をつくるかについて工夫しようとしている。  【深める力】
まとめ （5分）	6 ワークシートにまとめを記入する。	◇他のグループのよさを感じ取り、自分たちの曲に工夫を生かすように助言する。	
<b>【まとめ】（生徒のまとめ例）</b> 行事に向かってだんだんやる気が高まっていく様子を表すためにリズムを合わせて強く打ち、反復するように工夫した。ざわざわした様子を反復で表し、だんだん静かになるように変化をさせた。			
	7 次時の予告	◇各グループでテーマ曲を完成することを知らせ、今後の学習の目標をもたせる。	